

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 地域高規格道路 <small>ながおかとうざい</small> 長岡東西道路 一般国道404号 <small>ながおかとうざい</small> 長岡東西道路	事業区分	一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局																					
起終点 自：新潟県長岡市大宮 至：新潟県長岡市下山		延長	1.3km																					
事業概要 <p>一般国道404号長岡東西道路は、地域高規格道路「長岡東西道路」の一部を構成し、信濃川で分断されている長岡市街地の交通渋滞の緩和、市町村合併により誕生した新長岡市の連携強化などを目的とした事業である。</p> <p>一般国道404号の新潟県長岡市要町～同市西津町間に至る延長約3.3kmのうち、信濃川を渡河する橋梁区間の長岡市大宮～同市下山間 約1.3kmにおいて直轄権限代行により改築事業を行うものである。</p>																								
H18年度事業化		H10年度都市計画決定	H19年度用地着手																					
全体事業費		約100億円	事業進捗率 50%																					
計画交通量		13,100～16,800 台/日																						
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </table>	B/C	1.2	(事業全体)		(残事業)	4.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 67/226 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">64/223億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">3/3億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体) 67/226 億円	(事業費)	64/223億円	(維持管理費)	3/3億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 264/264 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">195/195億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">53/53 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">16/16 億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体) 264/264 億円	(走行時間短縮便益)	195/195億円	(走行経費減少便益)	53/53 億円	(交通事故減少便益)	16/16 億円	基準年 平成23年
B/C	1.2																							
(事業全体)																								
(残事業)	4.0																							
総費用	(残事業)/(事業全体) 67/226 億円																							
(事業費)	64/223億円																							
(維持管理費)	3/3億円																							
総便益	(残事業)/(事業全体) 264/264 億円																							
(走行時間短縮便益)	195/195億円																							
(走行経費減少便益)	53/53 億円																							
(交通事故減少便益)	16/16 億円																							
感度分析の結果 <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量 : B/C= 1.1～ 1.3(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量 : B/C= 3.6～ 4.5(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C= 1.1～ 1.2(事業費±10%)</td> <td>事業費 : B/C= 3.6～ 4.4(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C= 1.2～ 1.2(事業期間±20%)</td> <td>事業期間 : B/C= 3.9～ 4.0(事業期間±20%)</td> </tr> </table>				(事業全体) 交通量 : B/C= 1.1～ 1.3(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C= 3.6～ 4.5(交通量±10%)	事業費 : B/C= 1.1～ 1.2(事業費±10%)	事業費 : B/C= 3.6～ 4.4(事業費±10%)	事業期間 : B/C= 1.2～ 1.2(事業期間±20%)	事業期間 : B/C= 3.9～ 4.0(事業期間±20%)															
(事業全体) 交通量 : B/C= 1.1～ 1.3(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C= 3.6～ 4.5(交通量±10%)																							
事業費 : B/C= 1.1～ 1.2(事業費±10%)	事業費 : B/C= 3.6～ 4.4(事業費±10%)																							
事業期間 : B/C= 1.2～ 1.2(事業期間±20%)	事業期間 : B/C= 3.9～ 4.0(事業期間±20%)																							
事業の効果等 <ol style="list-style-type: none"> ①旅行速度の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・並行路線（長生橋）の旅行速度が向上 ②日常活動圏の中心都市である長岡市街地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地へのアクセス向上（山古志支所～リバーサイド千秋、越路支所～新長岡市役所） ③広域ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市総合計画におけるラダー型広域幹線道路の一翼を担い、地域の交流促進と東西市街地の連携強化が期待される。 ④開発拠点への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点間のアクセス向上（長岡IC～長岡防災シビックコア地区）し、開発計画の促進や産業の活性化が期待される。 ⑤主要な観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光施設へのアクセス向上（長岡駅～国営越後丘陵公園）により、観光客数の増加や地域の活性化が期待される。 ⑥救命救急施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセス向上（宮内地区～長岡赤十字病院） ⑦災害時における交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨などにより信濃川橋梁部が通行止めになった場合に発生する渋滞の緩和効果が期待される。 																								
関係する地方公共団体等の意見 <p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡東西道路は長岡市など8市3町1村の首長で構成される中越地区国道事業促進協議会等から、長岡地方拠点都市地域の連携、柏崎圏との連携のため、早期整備の要望を受けている。 																								
県知事の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の安全・安心の確保や沿線地域の振興のため、事業を継続する必要がある。 ・事業を進めるにあたっては、県や市町村をはじめとした地元との調整を十分に行い、地元の意向を十分に反映させるべきである。 																								
事業評価監視委員会の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・審議した結果、再評価及び対応方針（原案）の「事業継続」は妥当である。 																								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																								

市町村合併 (H17. 4. 1に長岡市・中之島町・越路町・三島町・山古志村・小国町が合併)
 市町村合併 (H18. 1. 1に長岡市・和島村・寺泊町・栃尾市・与板町が合併)
 市町村合併 (H22. 3. 31に長岡市・川口町が合併)

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成19年度に工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率67%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

信濃川渡河部は、平成25年度の暫定2車線での供用に向けて工事を進める。

信濃川右岸側については、平成25年度の市道を利用した暫定供用をめざすとともに、引き続き早期の供用に向けて工事を進める。

4車線整備の時期は周辺の交通状況などを勘案して検討する。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等に変更はないが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。